

鳩樂舎だより

Vol.12

小雪の候

暦の上では風も冷たくなり、冬到来ですね。今回は、みかんのお話。

冬が旬の果物みかん。果肉はビタミンCが豊富で風邪予防、疲労回復や美肌に効果があります。皮にも作用があり、中国では生薬「陳皮」として使われます。

〈効能〉

- * 気の巡りを良くする
- * 消化吸収力を高める
- * 咳、痰を抑える



香りが気分をリフレッシュさせてくれます。

七味唐辛子の材料でもあります。ご家庭でも簡単に作れます。オーガニック、ノーワックスの皮を天日干しにし、しっかり乾燥させれば出来上がり。

小さくカットしてお茶に入れたり、和え物に。お風呂に入れてもよいですよ。瓶で保存して下さい。



監修 国際中医薬膳管理師 高橋恭子

暦 こよみ

しょうせつ



小雪 十一月二十二日

十二月六日

寒さが進み、そろそろ雪が降り始めるころのこと。とはいえ、雪はまださほど大きくなく、寒さもそこまでではありません。

日本には、春夏秋冬の四季だけでなく、二十四の気という季節があり、旧暦をもとに暮らしていた時代には、人はそうした季節の移ろいをこまやかに感じ取って生活していました。

旬のものをいただき、季節それぞれの風物詩を楽しみ、折々の祭りや行事に願いを込めてきました。自然の流れに寄り添う旧暦のある暮らしは今の時代にも大切なもの、人の身も心も豊かにしてくれるものに満ちています。

日本の七十二候を楽しみましょう

より



文 白井 明大

知ってる 知らない 伝えたい
わが町 斑鳩

再建された法輪寺の
三重塔



三井の見どころの代表は法輪寺です。別名三井寺ともいわれ法琳寺とも表記されます。創建は、太子の長子山背大兄王が太子の病氣平癒を祈り造立、また百済の法師3人が合力して造寺ともいわれます。法隆寺式伽藍配置で、7世紀には寺観が整っていたとみられ、寺に伝わる多くの仏像の年代から平安期には全盛であったと思われます。

江戸初期の「慶長伽藍図」には、寺領は東西8丁・南北11丁と書かれ、金堂・講堂・三重塔・南大門・中門・鐘楼・四面回廊のほか、東西僧房・諸堂7か所・子院22院が描かれ大きな寺院でした。その後、1645(正保2)年に大風により諸堂がごとごとく倒壊し、三重塔は三層目を失いました。再興に長くかかり、規模も小さくなりました。再興に現在の伽藍に整えられました。

しかし、その三重塔は、1944(昭和19)年に落雷により焼失し、全焼のため国宝指定を取り消され自力での再建になりました。当時の住職慶覚師と後を継いだ康世師が全国を勧進行脚し戦後の混乱期や物価の高騰など幾多の困難を乗り越えて再建されました。つづく...

斑鳩大辞典 蔭山精一編より

鳩樂舎 奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺西1-3-3
0745-74-2660 吉田